



2年生(普)総探 統計データ利活用講座

感覚より、根拠。～客観的なデータが、次の一步を導く～

9月9日と29日、和歌山県データ利活用推進センターの山中彩光氏と田原原滉氏をお招きし、「統計データ利活用講座」を実施しました。本講座は、2年生普通科「総合的な探究の時間」の授業の一環として行われ、各分野1時間ずつ、統計データの活用方法を学びました。

授業の前半では、課題解決に向けて上質なデータに基づくエビデンス・ベースで考察することで、客観性が生まれ、より説得力のある成果を出すことができるということが説かれました。後半では、タブレット端末を用いて複数の統計ツールを実際に操作しながら、目的に応じたデータの収集・整理・分析の方法を学びました。



多くの情報が簡単に手に入る現代において、信頼性の高いデータを見極めて正しく活用することは、将来どのような進路でも求められる重要なスキルです。本講座はその力を身につけるための貴重な機会となりました。教えていただいた統計ツールを以下に紹介します。ぜひ使ってみてくださいね。



- ・ **e-stat**…日本の統計を閲覧、ダウンロードができる。調べたいデータの調査名や項目がすでに決まっている場合にオススメ。
- ・ **統計ダッシュボード**…日本の主要な統計をグラフで見ることができる。調査名が分からない時や、まずはどんなデータがあるのか見てみたい時にオススメ。
- ・ **RESAS**…地域経済に関連するデータをグラフで見ることができる。国の統計以外に、民間企業が提供するデータも併せて見ることができる。
- ・ **JSTAT MAP**…日本の主要な統計を地図に表示して見ることができる。人口や年齢階層で地図を色分けしたり、任意の地点の周辺の人口を調べたりできる。

統計データ利活用講座に参加して　～振り返りシートより～

データを探してみると、自分が探していたデータにたどり着くことができた。自分の目的にあったサイトがたくさんあった。



自分たちが知りたいデータをgoogleなどの画像欄で探すだけでなく、県や国から公開されているサイトなどからデータをうまく利活用していきたいと感じた。

きちんと信頼性のあるデータを正確に読み取り、客観性のある納得できる資料を作りたい。

PPDACサイクルが問題解決の方法だということがわかった。信頼性のある情報収集の方法がわからなかつたけど、知ることができたので使っていこうと思う。